

今後の主な取り組み



1. こども子育ての幸せを実現

- ①子育て世帯の経済的負担の軽減
 - ・保育料無償化、子ども医療の無償化、児童センター無償化、不妊治療・不育症治療の無償化の継続
 - ・0歳から18歳までの切れ目ない支援の実施
- ②家事・育児における男女の協力促進
- ③病児保育の拡充や乳児等通園支援(誰でも通園) ※1の導入
- ④子育て生活応援事業※2等子育てサービスの利用促進
- ⑤保育士の処遇改善とICT導入による負担軽減
- ⑥保育士の人材確保に向けた保育職場体験や保育士の仕事の魅力発信

※1 乳児等通園支援(誰でも通園)
就業要件を問わず時間単位で利用できる新しい通園制度
※2 子育て生活応援事業
子育て家庭等の簡単な家事や保育を代行行うこと

2. こどもの安全・安心を確保

- ①市内かかりつけ医の推進
- ②産後ケアの拡充
- ③適切な生活習慣の確立と食育の推進
- ④ヤングケアラーや貧困、虐待等相談窓口の周知
- ⑤地域での居場所づくりへの支援
- ⑥子育て情報の発信

3. 地域全体で子育てを応援

- ①企業や地域で「こどもまんなか応援サポーター宣言」※3の推進
- ②児童センターと地域が連携した体験活動等の推進
- ③屋内遊び場や若者の居場所の整備

※3 こどもまんなか応援サポーター宣言
こどもたちのために何が最も良いことを考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという趣旨に賛同して活動することを宣言すること

4. こどもの夢や希望を応援

- ①「かつやまっこすくすくビジョン」※4に沿った幼児教育・保育の推進
- ②ESD※5を通じた探究的な学習の推進
- ③ICTを使いこなす力や情報活用能力の育成
- ④こどもの人権に関する啓発活動
- ⑤医療的ケア児や障がい児の保育支援体制の強化
- ⑥国際交流員と園児、児童等との交流の促進
- ⑦魅力ある学校づくりに向けた授業や学校行事の推進
- ⑧スクールバスや市内全域のフルデマンドバスの運行体制整備

※4「かつやまっこすくすくビジョン」
R6年3月に策定された、勝山市の幼児教育・保育の方針
※5 ESD
持続可能な開発のための教育

5. 若者がいきいきと活躍できるまち

- ①市民団体と民間と連携した結婚支援やイベントの実施
- ②出会いから交際、成婚に向けた伴走型支援
- ③給付型奨学金制度の検討
- ④市内に居住する福井県立大学恐竜学部学生への支援
- ⑤移住・定住の促進
- ⑥外国人に対する生活情報の発信と交流機会の創出
- ⑦若者の意見を聞く機会の創出
- ⑧地域のイベントに若者の積極的な参画の促進
- ⑨地域や職域と連携した職業体験の機会の創出



勝山市 こども計画 (概要版)

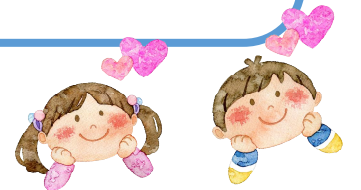
～こども・若者の未来を築く～

令和7年度から令和11年度までの5年間に、子育てやこども・若者への支援の取り組みについて定めた計画です。

こども計画では、全てのこども・若者が幸福な生活を送ることができる社会「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

<基本理念>

こどもが育つ、まちが育つ、
わいわいわくわく未来のかつやま



◇こどもが育つ

こども達が健やかに成長できるための、教育、福祉、遊びの環境を整え、安心して結婚・出産・子育てができるまちを目指します。

◇まちが育つ

新しい時代を生き抜く力を育むまち、社会で活躍できる人材を育むまちを実践し、勝山の未来につなげていきます。

◇わいわいわくわく未来のかつやま

わいわいわくわく笑顔あふれる勝山、活力ある未来の勝山を目指します。



勝山市教育委員会 こども課

〒911-0804

福井県勝山市元町1丁目5-6

TEL 0779-88-8771

E-mail jidou@city.katsuyama.lg.jp →



勝山市の現状

(1)人口等の動向

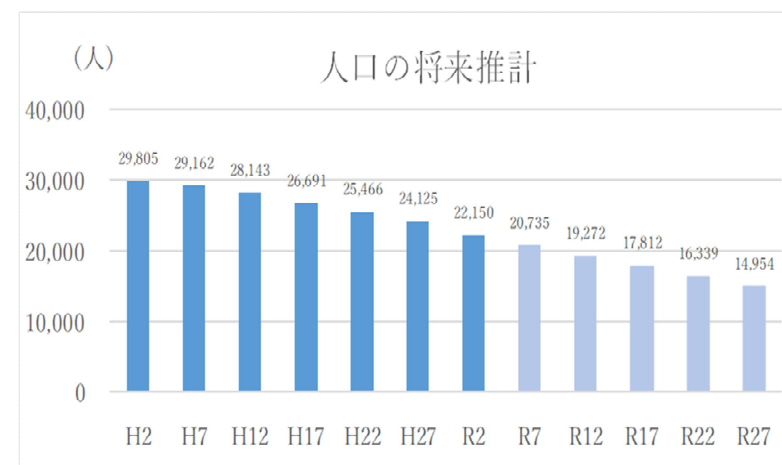
①人口	1990年	29,805人	⇒	2020年	22,150人	⇒	2030年	19,272人（推計）
②出生数	1990年	295人	⇒	2020年	123人	⇒	2030年	83人（推計）
③婚姻数	1990年	126組	⇒	2020年	65組	⇒	2023年	45組

* 出生数は1年間に生まれた子の数、婚姻数は1年間に結婚した数

④未婚率		
男性（35歳～39歳）	1990年 17.9%	⇒2020年 40.9%
女性（35歳～39歳）	1990年 2.4%	⇒2020年 23.9%

少子高齢化が進行し、人口が減少しています。人口減少の要因としては、こども・若者の人口の減少、未婚・晩婚化、家族のあり方の価値観の変化、子育ての負担感の増大などが推測されます。

若者の意見を聞き、結婚や子育ての支援を充実していくことが重要です。



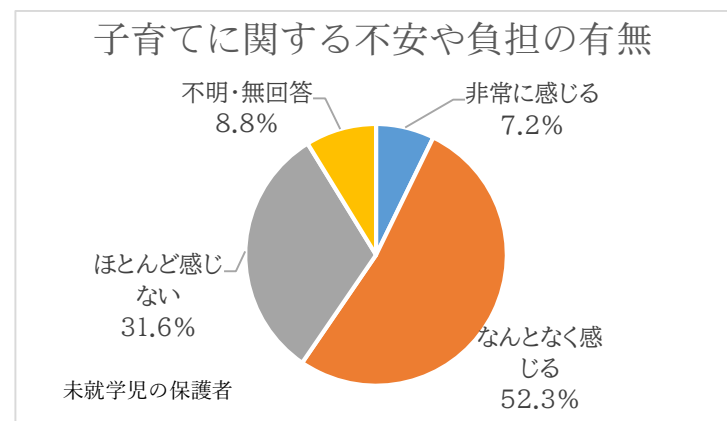
(2)子育て環境等

①子育て世帯の就労状況（パート含む） 父親 95.4% 母親 92.7%

②育児休業取得状況
男性 2018年 1.3%⇒2023年 8.6%
女性 2018年 60.7%⇒2023年 73.4%

③子育てに関する不安や負担

不安や負担の要因としては、こどもの成長発達や仕事との両立、経済的負担等が多いです。子育て世帯が、仕事と両立し子育てしやすい環境づくりが重要です。また、地域で子育てを応援する機運の醸成が必要です。



*** こども・若者の意見 ***

交通

- ・えち鉄など公共交通の本数を増やしてほしい。
- ・通学路の整備をしてほしい。

遊び

- ・大きな公園がほしい。
- ・屋内の遊び場がほしい。

その他

- ・職業体験の機会を増やしてほしい。
- ・教育費等の経済的支援があるといい。

こども
まんなか



商業

- ・大きな商業施設を増やしてほしい。
- ・ファストフードのチェーン店を増やしてほしい。
- ・スポーツやカラオケ等の複合施設がほしい。

若者の居場所

- ・若者が遊べる場所がほしい。
- ・友達とおしゃべりや勉強ができるフリースペースがほしい。
- ・wi-fiを整備してほしい。

*** 勝山市こども計画の体系 ***

〈基本理念〉〈基本目標〉

〈基本方針〉

〈基本施策〉

こどもが育つ、まちが育つ、わいわいわくわく未来のかつやま

安心して
結婚・出
産・子育て
ができる
まち

新しい時
代を生き
抜く力を
育むまち

社会で活
躍できる
人材を育
むまち

1 こども子育て
の幸せを実現



2 こどもの安
全・安心を確保



3 地域全体で
子育てを応援



4 こどもの夢
や希望を応援



5 若者がいき
いきと活躍で
きるまち



- ①子育てに関する不安や経済的負担の軽減
- ②仕事と子育てが両立できる環境づくり
- ③子育てにかかわる人材の確保

- ①妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保
- ②健やかな成長を促す生活習慣の確立
- ③各家庭の状況に応じた伴走型支援
- ④必要な支援を必要な人に届けるための情報発信

- ①結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・機運の醸成
- ②地域と連携したこどもの居場所づくり

- ①質の高い教育環境の整備
- ②こどもが安心して過ごし遊び学ぶことのできる環境づくり

- ①結婚を希望する方への支援
- ②悩みや不安を抱える若者の支援
- ③若者の夢や希望を応援
- ④こども・若者の意見の反映

